

【小学生の部】 作文部門 未来賞

「ぼくの小さな一歩」

港区立青南小学校 3年 葉山 楓悟

地球には今、77おくの人がいる、と本で読みました。ぼくにはピンと来ない大きな数です。ぼくは一歩のはばを計ってみました。135cmのぼくがかかる一歩を出すと、30cmでした。地球上の大人も子どももみんな30cmずつ進むと231万kmになります。地球の一周は4万kmなので地球を57周い上できる事になります。77おく人が小さな一歩を出すと、何だかすごい事ができそうな気がしてきました。

ぼくは今年の夏、そんな小さな一歩をいくつかはじめました。SDGsにかんけいのない人は一人もいないし、だれ一人取り残さない世界のためには、ぼくだって何かしないとイケないと思ったからです。

まずは、ぼくの家の中を冷ぼうのむだをなくそう、と思いました。ぼくの家は2LDKのけっして広くないマンションで、ぼくとママと犬のカイとねこのジャスミンで住んでいます。犬やねこのために、冷ぼうはつけたままにしておきますが、ママがケチなので、せつ定温度は28度です。そして、サーキュレーターをつけて風を通してあります。でも、エアコンは、リビングにしかないの、しん室でねる時は、リビングのドアを開けて、ろう下に風を送って何とかしました。むだがあると感じたので、ぼくは今年、リビングにふとんをはこんで、犬とねこ、みんなでねる事にしました。じゅう分ずしくて、毎日、とてもかいてきてです。

次に、ぼくは、ママが買い物へ行く時に、ついて行くようにしました。そしてお店で、「これはエシカル消ひ？これは、かんきょうに悪い事をしないで作られたもの？」と、ママにいちいち聞く事にしました。うるさい子だ、と思われたかもしれませんが、ママだけではなくて、これを見たまわりの大人も、何か感じる事があるかも知れません。そのうち、会社も、商品を売るために、かんきょうの事をもっと考えていくはずで。

もしかすると、ぼくのはじめた色々な一歩は、意味のない事もあるかも知れません。でもぼくは、一つずつ、思いついたらすぐ、できる事からやってみようと思います。じぞくかのような未来は、む理をするひつようはないだろうし、む理をしてもつづきません。でも、これは地球の全員で、やらないといけません。だからぼくは、小さな一歩をふみ出していきます。そうすればきっと、ぼくにも、みんなにもいい社会を作る事につながると思います。